

災害時保健活動の準備をしよう！

～市町村災害時保健活動支援ブック～



● これまでの経緯

東京都西多摩保健所は、市町村の災害時保健活動マニュアル作成を支援するため、平成29年3月に「西多摩圏域市町村災害時保健活動ガイドライン(以下「ガイドライン」という。)」を作成しました。

そして、平成30年度にはガイドラインを基に作成したマニュアルの実効性を確認するため、マニュアルを作成した日の出町と共同で「市町村災害時保健活動の実行力向上支援事業」に取り組みました。アドバイザーとして国立保健医療科学院健康危機管理研究部長 金谷泰宏先生をお迎えし、図上シミュレーション訓練や総合防災訓練等を行うとともに、日の出町災害時保健活動マニュアルの記載内容を検証しました。



● 支援ブックについて

本誌は日の出町との事業の成果を基に、災害発生時に優先順位の高い「災害時保健活動の拠点づくり」と「避難所等での保健活動」のための支援ツールとして作成しました。「発災時の動き」と「平常時に行うべき準備」に分けて記載しており、準備を進めることができます。

また、準備ができた際に訓練ができるツールも掲載しています。訓練は、実際の場面に近い形で実施することが有効であり、自治体の総合防災訓練等に参加して災害時保健活動の訓練を行うと効果的です。

なお、本誌は、各自治体の災害時保健活動マニュアルに合わせた内容に変更してご活用ください。マニュアルがない場合は、ガイドラインを参考に準備をすることができます。記載されている資料・様式等の詳細は、ガイドラインのP109～P144です。



ガイドラインは、東京都西多摩保健所のホームページをご覧ください。

西多摩 ガイドライン 検索

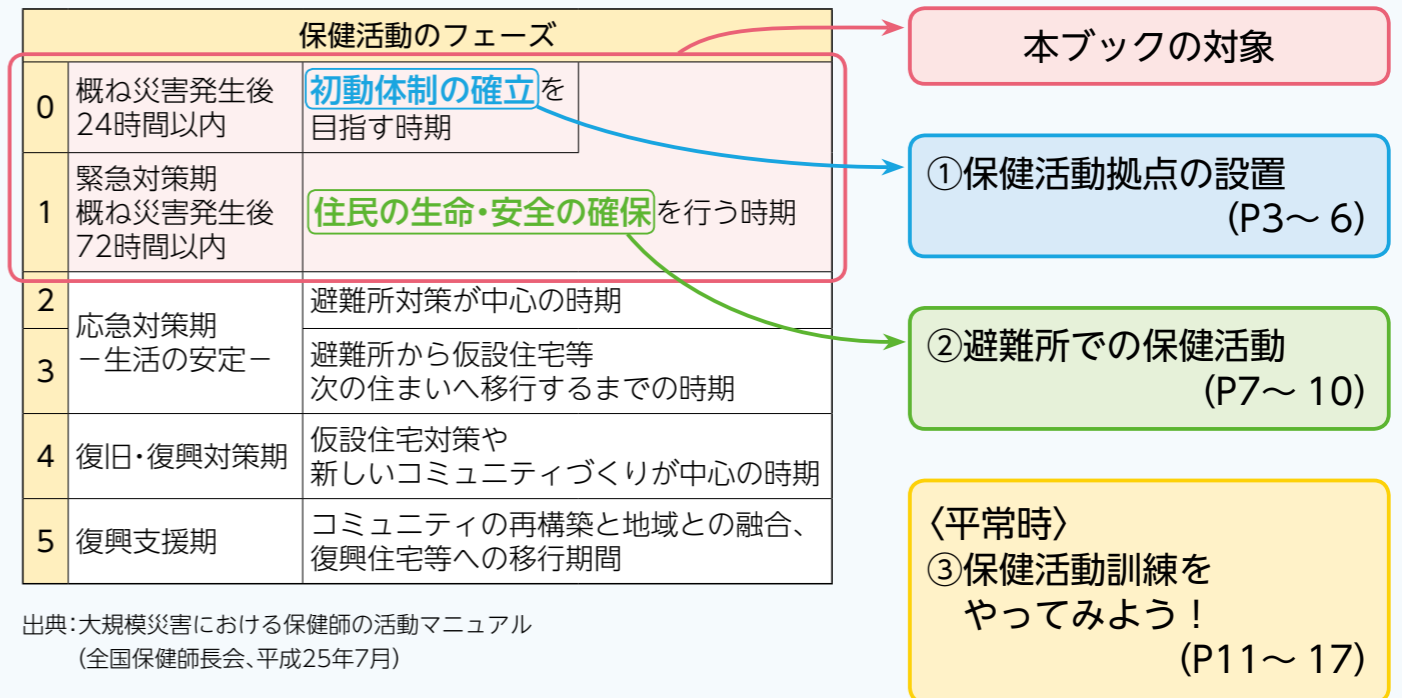
URL: http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/nisitama/tiiki/kadaibetu_plan/saigaiguideine_phn.html

● 災害時保健活動の準備

災害時保健活動とは、災害発生時に、住民の生命・安全な暮らしの確保を図り、避難生活に伴う二次的な健康被害を予防しながら、被災地域全体の早期復興へ向けた支援を行うことです。

保健師は各自の役割の下、発災から刻々と状況が変化の中で被災者の生活や支援のニーズをとらえ、想定される事態を予測しながら方針を検討し、活動を行っていきます。

本誌では、フェーズ0-1の保健活動の準備に焦点を当てています。ここでの準備は、応援を受ける場合や他地域の災害支援に行く場合の準備にも役立ちます。



〈参考〉保健師の3つの役割と応援保健師との役割分担

役割	役割の概要	応援保健師との役割分担
リーダー保健師	保健活動全体を統括・采配する役割を担う。保健活動に関わる情報を集約・分析、庁内関係部署・災害対策本部との窓口となり、保健活動方針を検討すると共に、医師会・東京都・応援保健師等との連絡・調整を行う。	被災地保健師
リーダー補佐保健師	地域全体や自治体の動きを踏まえ、リーダー保健師を補佐すると同時に、避難所などの現場で活動する保健師に指示を出す、情報を集約するなどの役割を担う。町村などリーダー補佐保健師が配置できない場合は、リーダー保健師と現場の保健師の2役で分担する。	
現場の保健師	避難所での活動や個別訪問などの実働を担う。この役割は、大規模災害時に外部から応援者が入る場合は、応援保健師が担うことが想定される。また、リーダー保健師、リーダー補佐保健師への報告を行う。	応援保健師

1 災害時保健活動拠点の設置

災害発生
フェーズ0



- ### 拠点を設置する前に確認すること
- 職員の参集状況・安否確認
 - 拠点設置の必要性の判断
 - 拠点を設置する施設の状況
(建物の被災状況と使用可否、ライフライン、通信・連絡手段)

災害時保健活動拠点とは

災害時に保健活動を担う部署が設置し、被災者の予防も含めた中長期的な健康管理全般を行うための拠点となる場所です。
 発災後、早急に設置し、活動に備えるとともに、情報収集・分析・関係者ミーティングを行い、保健活動方針を定めていきます。
 拠点には多くの職種・関係者・外部支援者が集みますので、保健活動に必要な資材・情報を整えておきます。



掲示物

市町村の組織、保健活動に関わる担当者とともに地域の状況を掲示

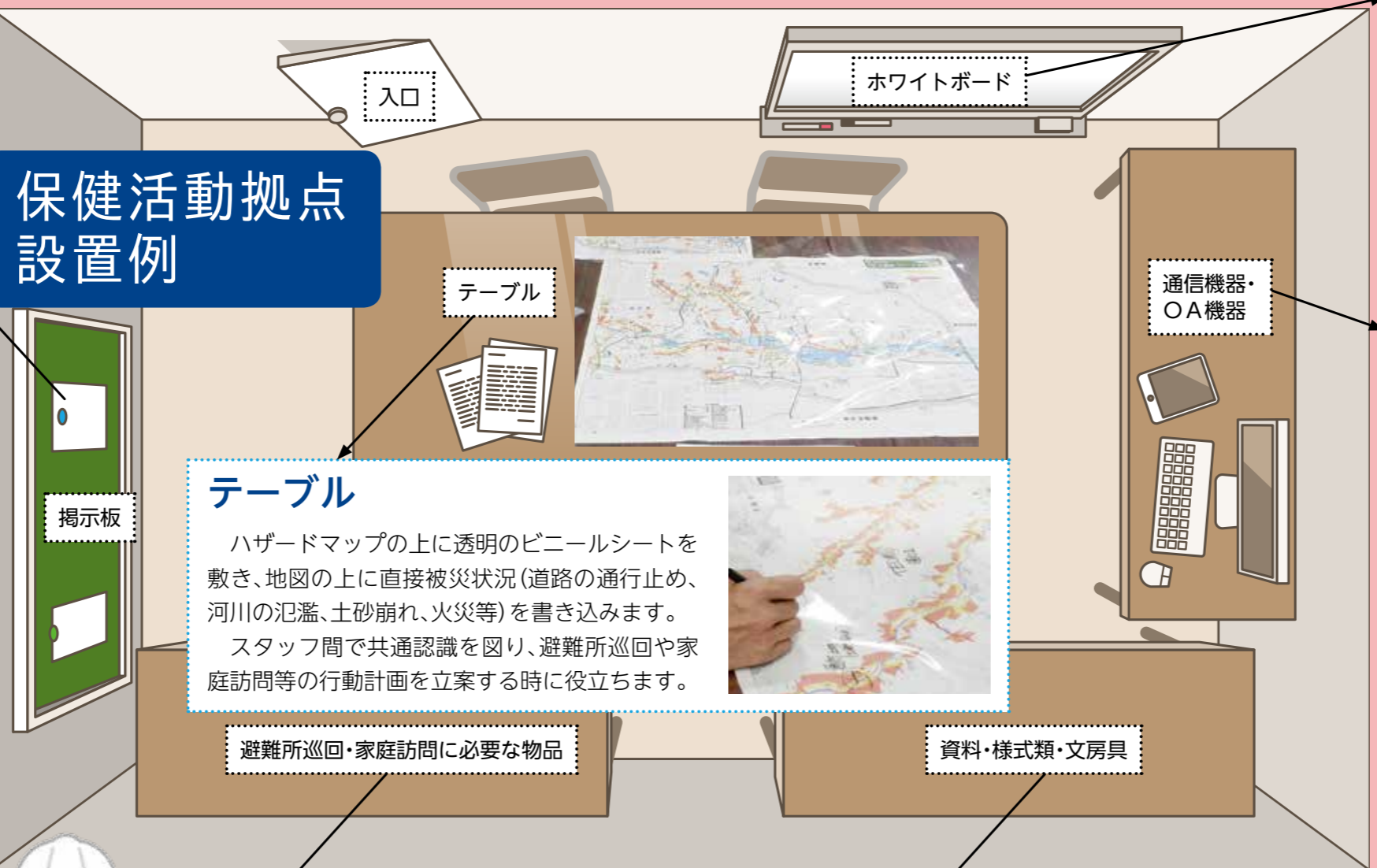


保健活動地区別地図



災害時の組織図・保健師連絡先

- 保健活動地区別地図
- 連絡先一覧(連絡体制表)
- 災害対策本部組織図
- 各部署の事務分掌
- 保健活動体制役割分担表
- 指定避難所・二次避難所一覧
- 医療機関一覧
- 保健活動フェーズ表



保健活動拠点 設置例

テーブル

ハザードマップの上に透明のビニールシートを敷き、地図の上に直接被災状況(道路の通行止め、河川の氾濫、土砂崩れ、火災等)を書き込みます。
 スタッフ間で共通認識を図り、避難所巡回や家庭訪問等の行動計画を立案する時に役立ちます。



ホワイトボード

発災直後より把握した情報・実施したことについて、日時、発信者・内容をホワイトボードや壁に貼った白いビニールシートに経時的に記録します。(クロノロ)



通信機器・OA機器

- パソコン
- インターネット回線
- タブレット端末
- スマホ・充電器
- プリンター
- 延長コード類
- 等

外部支援者の受入れ

外部支援者には、避難所での健康管理、必要に応じた家庭訪問など住民への直接支援を中心に依頼します。
 外部支援者へのオリエンテーションでは、特に被災自治体の組織体制(連絡の流れや意思決定など)を伝えることが重要となります。
 外部支援者の交代・撤退に伴い、支援や治療の中断にならないよう、引継ぎを徹底します。

避難所巡回・家庭訪問に必要な物品

リュックに一式入れておきます(詳細はP7)。その他の物品・資料・様式は出向く際に選択。



資料・様式類

様式類、資料を一定数印刷し、それぞれ封筒などに入れ、クリアボックスにひとまとめにしておきます。
 その他に住宅地図、マニュアル、外部支援者説明用資料なども備えます。(詳細はP5~6)



保健活動拠点の設置に向けた準備

拠点に必要な物品

災害時にリストを見ながら準備をしていたら時間が足りません！

すぐに拠点を立ち上げられるよう、平常時から準備できるものはボックスなどにまとめて入れておきます。



	品名			
筆記用具	<input type="checkbox"/> ホワイトボードマーカー	<input type="checkbox"/> 油性マジック	<input type="checkbox"/> シャープペン	
	<input type="checkbox"/> ボールペン	<input type="checkbox"/> 消しゴム	<input type="checkbox"/> 蛍光ペン(3色以上)	
文房具	<input type="checkbox"/> ビニールシート(透明・白)	<input type="checkbox"/> 模造紙	<input type="checkbox"/> ステープラ	<input type="checkbox"/> 付せん
	<input type="checkbox"/> セロハンテープ	<input type="checkbox"/> 梱包用テープ	<input type="checkbox"/> ガムテープ	<input type="checkbox"/> クリップ
	<input type="checkbox"/> ビニールテープ	<input type="checkbox"/> 画鋏	<input type="checkbox"/> マグネット	<input type="checkbox"/> 輪ゴム
	<input type="checkbox"/> A4クリップボード	<input type="checkbox"/> ビニール紐	<input type="checkbox"/> カッター	<input type="checkbox"/> はさみ
電化製品	<input type="checkbox"/> パソコン	<input type="checkbox"/> プリンター	<input type="checkbox"/> デジカメ	<input type="checkbox"/> 電卓
	<input type="checkbox"/> スマホ	<input type="checkbox"/> タブレット	<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 充電器
	<input type="checkbox"/> シガーソケットアダプタ	<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 延長コード	
服装等	<input type="checkbox"/> 災害対策服	<input type="checkbox"/> 所属・職種がわかるゼッケン・ビブス・腕章		
	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(ヘッドライトや吊り下げ式等)		<input type="checkbox"/> 安全靴
衛生用品	<input type="checkbox"/> 速乾性手指消毒薬	<input type="checkbox"/> 消毒薬(次亜塩素酸、塩化ベンザルニコウム等)		
	<input type="checkbox"/> 使い捨ての予防衣・手袋	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> エタノール	

避難所巡回・家庭訪問に必要な物品

リュックに一式入れておく(保健師バック→詳細はP9)。

保健師バックに入っている物以外の物品、資料、様式は、出向く際に選択します。

受援の準備

外部支援者のオリエンテーションに必要な資料を準備しておきます。地域保健関連情報(様式1)を作成・更新するなど、日頃より地区把握を行います。また、様々な外部支援者の名称・略称・活動内容・派遣の仕組み等を確認します。



資料名		
<input type="checkbox"/> 地域保健関連情報(様式1)	<input type="checkbox"/> 住民向け(防災)ハンドブック	<input type="checkbox"/> 事業概要
<input type="checkbox"/> 災害対策本部組織図	<input type="checkbox"/> 各部署の事務分掌	<input type="checkbox"/> 連絡先一覧
<input type="checkbox"/> ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 活動地区別地図	<input type="checkbox"/> 住宅地図
<input type="checkbox"/> 指定避難所・二次避難所・医療機関・福祉施設一覧(発災時は最新の稼働状況にデータを更新)		
<input type="checkbox"/> 様式・資料		

毎年、決まった時期にやること

- 毎年 月に 災害時のリーダー、リーダー補佐、現場保健師を決めます。
- 毎年 月に 自治体のデータ・特徴をまとめた地域保健関連情報を更新するとともに、全保健師で準備した物資を確認します。
- 毎年 月に リーダー保健師は、災害時の保健師の参集や配置について予測しておきます。

保健活動拠点に必要な資料・様式類

資料、様式類を一定数印刷し、それぞれ封筒などに入れ、クリアボックスにひとまとめにしておきます。



資料

※健康相談・健康教育・外部支援者一覧の資料については、ガイドラインの資料編に例を掲載

活動内容	資料名		
拠点設置	<input type="checkbox"/> 地域防災計画	<input type="checkbox"/> 保健活動マニュアル	
	<input type="checkbox"/> ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 活動地区別地図	<input type="checkbox"/> 住宅地図
	<input type="checkbox"/> 災害対策本部組織図	<input type="checkbox"/> 各部署の事務分掌	<input type="checkbox"/> 保健活動役割分担表
	<input type="checkbox"/> 連絡先一覧	<input type="checkbox"/> 指定避難所・二次避難所・医療機関・福祉施設一覧	
受援	<input type="checkbox"/> 地域保健関連情報(様式1)	<input type="checkbox"/> 住民向け(防災)ハンドブック	
	<input type="checkbox"/> 災害時の医療チーム・専門チーム・外部支援者等一覧(※)		<input type="checkbox"/> 事業概要
健康相談(※)	<input type="checkbox"/> トリアージ	<input type="checkbox"/> 災害時のこころ	<input type="checkbox"/> 水害時の衛生管理
	<input type="checkbox"/> やさしい日本語 等		
健康教育(※)	<input type="checkbox"/> 手洗い	<input type="checkbox"/> トイレ清掃	<input type="checkbox"/> エコノミークラス症候群 <input type="checkbox"/> 咳エチケット

様式

活動内容	様式番号	帳票名	チェック
拠点設置	8-①②	災害時保健師活動 携行品・必要物品 チェックリスト	
	9	活動拠点の状況確認シート	
	7-①②	保健活動メモ①②(フェーズ3まで)(情報収集しながら方針を検討する様式)	
	7-③	③(連絡・調整用)⇒クロノロ	
	7-④	④保健活動方針	
	7-⑤	⑤避難状況概要	
	7-⑥	⑥日程表(外部支援者の活動状況、通常事業再開計画等)	
10	発災時保健師行動計画		
避難所到着時	6-①	避難所日報①避難所情報(全国保健師長会様式(共通様式))	
	2	一時相談・健康調査連名簿	
健康相談	3-①	個別相談票①共通の相談様式	
	3-②	②妊産婦、乳幼児追加項目	
	4	健康相談経過用紙	
避難所責任者への報告	6-②	避難所日報②避難所避難者の状況(全国保健師長会様式(共通様式))	
	5	困りごとについての質問票	
	11	関係者ミーティング記録メモ	

2 避難所での保健活動



災害発生 フェーズ1

避難所へ 行くための準備例

活動のための確認事項

避難所へ出向くことが決まったら、保健師チーム(例:保健師2名+ロジスティクス担当(以下「ロジ担」という)1名)を編成し、現地での活動内容を検討します。

□ 災害状況、天候・気温

道路が通れるか→現地までのルートを選定
被災者がどのような状況か
→現地での活動内容を想定し、持参する物品・資料を選定

□ 医療機関・福祉避難所の稼働状況や搬送等の情報

医療機関や福祉避難所へ移送する必要がある被災者への対応に備え、EMIS(広域災害救急情報システム)、医療活動拠点、災対本部等より医療関係の情報、福祉避難所の稼働状況等を確認します。

□ 活動期間・スケジュール

避難所における大まかな活動予定をあらかじめ検討しておきます。

ロジスティクス担当とは、連絡調整、運転など保健活動を行うための後方支援全般を行う人



携行品等の準備

平常時に準備していたものを、災害の状況や活動内容に合わせて足し引きします。

①自身の安全確保

保健師チーム自身が身の安全を守れるよう準備します。

②所属や職種の明示

ビブスなどで保健師チームであることを示します。

③移動や連絡手段の確保

現地への移動手段と連絡方法を確保します。

④保健師訪問用リュック等携行品

リュックに一式入れておきます(詳細はP9)。

⑤資料・様式等

その他の物品・資料・様式は出向く際に拠点のストックより選択します。

保健師とロジ担で
現地へ出発!



避難所での保健活動で注意すること

災害による停電、断水、通信障害、道路の通行止め等によって、いつもと全く違う状況の中で、避難者の健康調査・健康相談・健康教育・衛生管理等を行わなければなりません。また、余震や河川の決壊等で保健師自身の二次被害も予想されます。そんな状況下でも十分な活動ができるような準備が必要です。



避難所での活動例

避難所に到着したら…

まずは
保健師チームの紹介

□ 避難所状況の確認(目視や管理者との打ち合わせで)

- ①避難所の管理者・運営組織
 - ②ライフライン
 - ③生活環境の衛生面
- ※様式6-①「避難所日報・避難所情報」を活用するとスムーズです。

□ 避難所管理者との健康相談の実施方法の打ち合わせ



健康相談の実施

□ 発災直後の健康相談では、支援の必要性が高い避難者(①医療が必要な人(人工透析・在宅酸素等)、②要介護度の高い人など)をアセスメントし、**保健ニーズの把握を主眼**に実施します。

※様式2「一時相談・健康調査連名簿」、様式3-①②「個別相談票」、様式4「健康相談票 経過用紙」を活用します。



健康相談が終わったら

□ 活動内容のとりまとめ

相談結果を集計し、避難所管理者への報告事項等をまとめます。

□ 避難所管理者への報告・対応依頼

①健康相談の実施状況報告と処遇調整、②生活・衛生用品の不足の確認、③今後の見通し、④健康管理や衛生管理についての助言、⑤健康相談があった場合の対応依頼
※①~⑤は様式11「関係者ミーティング記録メモ」や様式5「困りごとについての質問票」を活用できます。

□ 日報等の作成

帰庁したら、リーダー保健師に報告するとともに、日報等を作成します。
※様式6-①②「避難所日報」、様式7-⑤「避難所状況概況」など



避難所での保健活動 のための準備



①自身の安全確保

- ヘルメット
- 軍手
- 安全靴
- 懐中電灯(ヘッドライトや吊り下げ式等)
- ホイッスル



②所属や職種の明示

- 所属・職種がわかる
ゼッケン・ビブス・
腕章
- 身分証



④保健師訪問用リュック等携行品

リュックに一式入れておきます。その他の物品・資料・様式は、出向く際に拠点にある物資より選択

分類	品名			
健診用	<input type="checkbox"/> 血圧計	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> 聴診器	
救急用品	<input type="checkbox"/> アルコール綿	<input type="checkbox"/> 滅菌ガーゼ	<input type="checkbox"/> テープ	<input type="checkbox"/> カットバン
	<input type="checkbox"/> はさみ	<input type="checkbox"/> ピンセット	<input type="checkbox"/> 爪切り	<input type="checkbox"/> 弾性包帯・ネット包帯
	<input type="checkbox"/> 三角巾	<input type="checkbox"/> 毛抜き	<input type="checkbox"/> 消毒液(キズ、うがい用)	
衛生用品	<input type="checkbox"/> 速乾性手指消毒薬	<input type="checkbox"/> エタノール	<input type="checkbox"/> ボディシート(清拭用)	
	<input type="checkbox"/> 虫よけ	<input type="checkbox"/> 消毒薬(次亜塩素酸、塩化ベンザルニコウム等)		
	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 使い捨ての予防衣・手袋		
筆記用具	<input type="checkbox"/> 油性マジック	<input type="checkbox"/> シャープペン	<input type="checkbox"/> ボールペン	<input type="checkbox"/> 消しゴム
その他	<input type="checkbox"/> デジカメ	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> ごみ袋	<input type="checkbox"/> A4クリップボード
	<input type="checkbox"/> シューズカバー	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	



毎年、決まった時期にやること

- 毎年 月に 避難所での活動物品を確認します。
- 毎年 月に 所属する部署の避難行動要支援者名簿等により、安否・健康確認が必要な医療ニーズの高い方(人工呼吸器使用者、人工透析患者等)や受け持ちケースの支援方法を確認します。
- 毎年 月に 避難所運営マニュアル等により、避難所管理運営体制を理解します。

③移動や連絡手段の確保

- 巡回のための車の確保
- 被災地に入ることのできる許可証の取得方法を確認
(災対本部でまとめて取得か、各所属で手配するのか、各所属の場合、その取得手続き)
- 車のドアなどに表示する「〇〇市災害時緊急車両」のマグネットステッカー
- 処遇調整や必要物資手配の連絡ルートの確認
- (必要に応じて)スマホ、タブレット、充電器、インターネット接続回線(Wi-Fi等)



⑤資料・様式類(拠点と共通)

拠点に準備している資料、様式類から活動内容に応じて選択

派遣支援の場合の準備

応援要請があり、被災地へ派遣支援に行く場合は、現地で必要となるものは全て派遣元で準備します。

分類	品名
①自身の安全確保	依頼内容に応じて①～⑤の中からそれぞれ選択
②所属や職種の明示	
③移動・連絡手段の確保	
④保健師訪問用リュック等携行品	
⑤資料・様式類	全国保健師長会等の共通様式や、被災地や保健活動に関連する資料をデータでパソコン等に保存
⑥事務用品等	<input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> 乾電池

⑩各自で用意

- 防災服 雨具 帽子 履きなれた靴・長靴 上履き 洗面用具着替え
- 常備薬 目薬 保険証

〈夏季〉 日焼け止め 保冷バック 保冷材 クールネックスカーフ

〈冬季〉 使い捨てカイロ 防寒具 リップクリーム

3 保健活動訓練をやってみよう！

災害が起こった時、いきなり災害時保健活動…では、スムーズに行動できません。いつもと違う状況下でも活動ができるよう、準備・訓練が必要です。

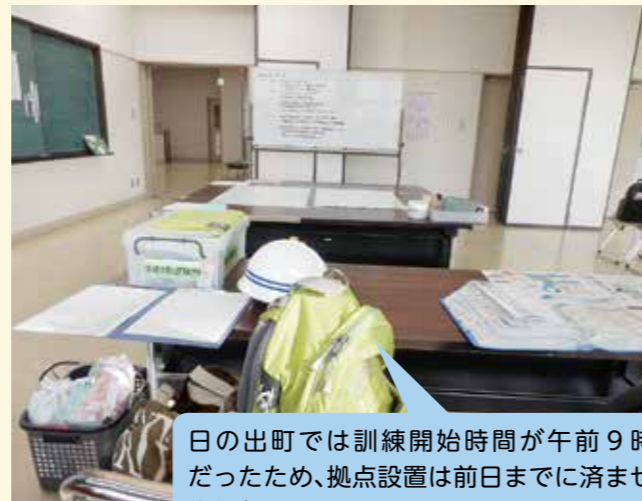
各市町村で毎年行っている総合防災訓練を活用してみたいかがでしょうか。そして、訓練の結果をマニュアル改定や物資の準備に活かしましょう。

日の出町では、住民の方にご協力いただきながら、総合防災訓練において避難所での保健活動訓練を行いました。

①事前準備

日の出町では、総合防災訓練の中での実施に向けて、避難所に関わる部署が話し合い、理解と協力を得ることができました。

また、避難所で健康相談を行うための模擬被災者の選出は、訓練に参加する自治会の方に協力を依頼しました。



日の出町では訓練開始時間が午前9時だったため、拠点設置は前日までに済ませました。

②保健活動拠点での訓練

進行役がイベントカードを手渡して訓練スタート！



プレイヤーが動けなくなった時は、進行役がヒントカードを提示します。



①被災状況等の把握・保健活動の準備

②保健医療福祉ニーズ、保健活動に関する情報収集・分析

③避難所での保健活動へ出発



～日の出町総合防災訓練～

③避難所での訓練 (健康相談の実施)

④避難所到着 管理者と打ち合わせ



⑤避難住民への健康相談の実施



進行役は、プレイヤーがちゃんと動いているか、あらかじめ項目を決めてチェックします。

⑥健康相談の状況等 管理者へ報告



④帰庁→日報等作成→課題・ニーズ分析→反省会

⑦帰庁後、相談内容の集計、日報等の作成

⑧避難所の健康管理上の課題の検討



保健活動を行う上では、PDCAサイクル、特にCheck(検証)・Action(改善)がしっかりできないと、ニーズ・課題とずれた活動になってしまうので、要注意！



反省会では、場面ごとにプレイヤー・進行役の双方より感想や改善点を出し合います。

災害時保健活動訓練の進め方

この訓練例は、避難所で行う健康相談を中心としたシナリオを基に、災害時保健活動の拠点設置・避難所での健康相談・帰庁後のまとめを疑似体験できるものです。フェーズ0-1の訓練想定が提示され、それに沿って役割ごとに保健師が活動を模擬展開することで、実際の発災時に自ら考え行動ができるようになることを目的としています。

事前準備

- 訓練の企画を立て、総合防災訓練等の中で実施できるようにします。
- 住民の方など総合防災訓練参加者の中から健康相談を行うための模擬被災者をあらかじめ依頼します。模擬被災者には、健康問題想定カード(右下の写真)を下げて訓練当日避難してもらいます。

訓練方法

1 参加者

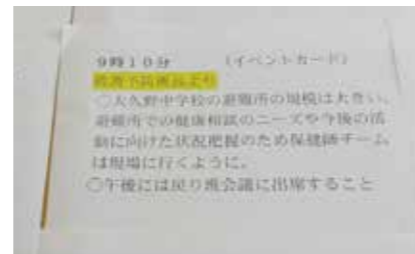
進行役: 場面の指示やヒントを出す役割
プレーヤー: リーダー保健師・リーダー補佐保健師・現場保健師・ロジ担(運転・記録)
模擬被災者: 避難所で健康相談を行う。健康問題想定カードの内容以外は自由に会話

2 訓練場所

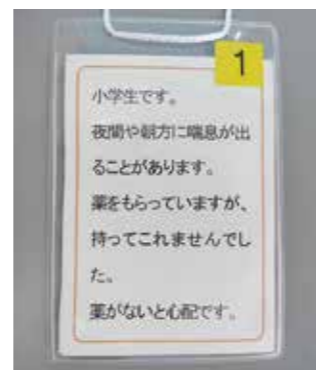
「保健活動拠点」を設置する会場と「避難所」を設置する会場

3 必要物品(保健活動拠点の物品に加えて)

- ・訓練シナリオ(例はP15~16)
- ・イベントカード
(P15~16のシナリオのうち、「イベントカード(被災状況や保健活動への要請)」の行を場面ごとにA4の紙に印刷)
- ・ヒントカード
(P15~16のシナリオのうち、「ヒントカード」の行を場面ごとにA4の紙に印刷)
- ・健康問題想定カード
(例はP17、はがき大の紙に印刷し、首から下げられるようにする。)
- ・訓練記録用カメラやビデオ等
- ・移動用車両



イベントカード



健康問題想定カード

4 訓練時間

保健活動拠点設置訓練は、総合防災訓練のスタート前に実施します。
拠点設置後の実動訓練は、総合防災訓練等の時間に合わせます。

進め方

- 1 進行役が訓練方法、プレーヤーの役割、進行予定を説明します。
- 2 進行役は、(既に設置済みの)保健活動災害拠点の準備状況を確認します。
- 3 総合防災訓練の開始の合図で活動拠点設置以降の実動訓練を開始します。
- 4 進行役が災害状況等の情報(イベントカード)を付与し、訓練を進めます。
- 5 プレーヤーは進行役の提示する情報(イベントカード)に対応した行動をとります。
- 6 プレーヤーが困ったら、進行役はヒントカードを出し、訓練を進めます。
- 7 進行役はタイムキーパーとしての役割も果たし、「災害時保健活動拠点から避難所へ移動」などの場面の切り替えを促します。
- 8 健康相談の場面は、模擬被災者が持参する健康問題想定カードに合わせて実施します。
- 9 避難所での健康相談が終了したら帰庁し、報告・まとめを行い、訓練を終了します。
- 10 訓練の反省会では、場面ごとに進行役・プレーヤーの双方から感想や改善点を出し合います。



イベントカードを手渡す進行役



健康問題想定カードをもとに健康相談



反省会の様子

【大きな訓練はできない場合】

保健師だけでも、研修などの位置づけでも、訓練に取り組んでいきましょう。
保健活動拠点をみんなで準備してみる、シナリオにそって図上訓練で実施する、健康問題想定カードを日報にまとめてみるなど、取り組みやすいところから訓練を始めましょう。

ガイドラインを使用した避難所での保健活動訓練シナリオ

場面	災害発生	避難所支援要請	避難所への出発～到着	避難所での保健活動	避難所管理者との打ち合わせ	活動報告・集計
イベントカード(被災状況や保健活動への要請)	【発災】 ▲月▲日(▲)午前9時、▲▲▲を震源とするマグニチュード7.4(震度6強)の地震が発生、▲▲地域を中心として広域的に被害が生じている。	【上司からの指示】 ●▲▲避難所の規模は大きい、避難所での健康相談のニーズや今後の活動に向けた状況把握のため保健師チームは現場に行くように。 ●▲▲時には戻り、班会議に出席すること。	【被災状況】 ●車は路肩に寄せられ、緊急車両のみ通行可能。 ●消防団が逃げ遅れはないかと巡回している。 ●家は瓦が落ち、古い住宅の多くは半壊している。 ●医療情報「災害拠点病院は稼働、緊急医療救護所を開設、他の病院や医院の状況は確認中」	【避難所管理者の説明】 ●避難所の管理者は▲▲さんである。3自治会の住民が避難者の多くを占め、この避難所の住所地の自治会がまとめ役を引き受けた。 ●居場所は自治会ごとに大きく割り振っているが、来た順になっている。 ●軽症者や体調が悪い人も出ている。訴えがあった人には、安静にしているよう話し、毛布を配布した。毛布は全員には渡せず、高齢者や子供に配布した。 ●追加の毛布や災害用のベッド等は依頼済み。 ●救急用品は用意されていたので、ケガの処置を行い、150人ほどの利用があった。 ●乳幼児が130人ほどおり、紙おむつ、ミルク、離乳食が不足している。	【避難所管理者からの依頼等】 ●避難所で具合の悪い人が出た時にはどうすればいいか。 ●人工透析患者や在宅酸素法の患者の処遇について、至急対処してほしい。 ●持病がある人の医療用品や薬の手配をしてほしい。 ●福祉避難所への搬送の判断や避難所での介護について支援してほしい。	【上司からの指示】 ●被災者の健康管理について方針を出すように。 ●外部からの派遣を要請する必要があるか。必要な場合は、必要職種、人数・期間等を算定するように。
	【被災状況】 ●庁舎は物品の散乱や一部破損等もあるも使用可 ●停電、断水発生、電話使用できず、インターネットと災害用電話のみ使用可 ●天気 ▲▲ 気温 ▲▲℃ ●救護所に多数の住民が運ばれている。建物倒壊時のけが人多数 ●救護所への搬送が滞り、救護所に行けない人が避難所に避難している。	【上司からの避難所情報】 ●▲▲避難所はすでに入所者は800人を超えており、夕方までには1000人を超える見通し。 ●避難所運営者から「介護や医療の必要な高齢者、乳幼児、妊産婦、障害者について対応を相談したい。血圧や糖尿病の薬を忘れた方や、体調不良を訴える方等への対応してほしい。」と要請あり。 ●食事は炊き出し ●仮設トイレが先ほど整い10個あるが、小学校のトイレは断水で使用できない。	【避難所の様子】 ●体育館の中には多くの避難者があり、高齢者の割合が高い。高齢者は、毛布に包まり横になっている者が多い。 ●トイレは女性用に長い列ができています。車いす用トイレは1個のみ。 ●避難所内の室温は▲▲℃ ●出先から戻り、避難所に来る人が増えてきた。 ●炊き出しの食事が終わったばかりで、今は少し落ち着いている。	【避難所管理者の説明】 ●避難所管理者に運営体制や避難者の状況を確認 ●保健師チームの役割について説明し、活動の場を確保 ●避難所での保健活動の方針及び役割分担を指示	【避難所管理者からの依頼等】 ●避難所の状況報告 ●医療や介護が必要な方の処遇調整 ●生活用品・衛生用品の不足の確認 ●健康相談があった場合の対応依頼 ●健康管理や衛生管理について助言	【上司からの指示】 ●避難所の報告を反映させた災害時保健活動計画の作成 ●受援要請の有無の判断
保健活動の行動例	【リーダー保健師】 ●災害時の保健活動の統括 ●災害状況及び職員参集可否の確認 ●災害状況から保健ニーズを予測 ●保健活動の方針を上司と確認 ●職員に活動方針を提示 ●保健活動拠点の設置を指示 【リーダー補佐保健師】 ●保健活動に必要な物品準備 ●保健活動拠点の設置 ●各保健師にマニュアルに基づく業務を指示 【現場保健師】 ●担当部署での保健師の役割を確認 ●保健師参集指示への対応	【リーダー保健師】 ●要請内容の検討と活動方針の決定 ●避難所に向かう保健師チームの編成 ●避難所までの被災状況の確認、移動経路の決定 【リーダー補佐保健師】 ●医療情報等の確認 ●移動や通信手段の調整 ●同行保健師やロジ担に業務指示 【現場保健師】 ●避難所での保健活動に必要な物品準備	【リーダー補佐保健師】 ●避難所の保健活動のリーダーを担う ●必要物品や避難所までの行程の確認 ●現場保健師に避難所到着までの記録を指示 ●ロジ担に連絡手段の確認も含めた到着の連絡を指示 【現場保健師】 ●リーダー補佐保健師の指示に基づいた活動を実施 ●出発から避難所到着までを記録	【リーダー補佐保健師】 ●避難所管理者に運営体制や避難者の状況を確認 ●保健師チームの役割について説明し、活動の場を確保 ●避難所での保健活動の方針及び役割分担を指示 【現場保健師】 ●リーダー補佐保健師と健康相談や環境アセスメント等の実施 ●相談内容等の集計を行い、リーダー補佐保健師に報告	【リーダー補佐保健師】 ●保健活動の状況報告 ●医療や介護が必要な方の処遇調整 ●生活用品・衛生用品の不足の確認 ●健康相談があった場合の対応依頼 ●健康管理や衛生管理について助言 【現場保健師】 ●連絡や啓発に必要な物を用意 ●処遇調整の必要な者のリストの作成	【リーダー保健師】 ●避難所の報告を反映させた災害時保健活動計画の作成 ●受援要請の有無の判断 【リーダー補佐保健師】 ●避難所の状況と合わせて保健活動について報告 ●健康課題について、リーダー保健師に相談 【現場保健師】 ●相談記録や日報のまとめ ●保健活動に必要な物品の補充
	【リーダー保健師】 ●災害時の保健活動の統括 ●災害状況及び職員参集可否の確認 ●災害状況から保健ニーズを予測 ●保健活動の方針を上司と確認 ●職員に活動方針を提示 ●保健活動拠点の設置を指示 【リーダー補佐保健師】 ●保健活動に必要な物品準備 ●保健活動拠点の設置 ●各保健師にマニュアルに基づく業務を指示 【現場保健師】 ●担当部署での保健師の役割を確認 ●保健師参集指示への対応	【リーダー保健師】 ●要請内容の検討と活動方針の決定 ●避難所に向かう保健師チームの編成 ●避難所までの被災状況の確認、移動経路の決定 【リーダー補佐保健師】 ●医療情報等の確認 ●移動や通信手段の調整 ●同行保健師やロジ担に業務指示 【現場保健師】 ●避難所での保健活動に必要な物品準備	【リーダー補佐保健師】 ●避難所の保健活動のリーダーを担う ●必要物品や避難所までの行程の確認 ●現場保健師に避難所到着までの記録を指示 ●ロジ担に連絡手段の確認も含めた到着の連絡を指示 【現場保健師】 ●リーダー補佐保健師の指示に基づいた活動を実施 ●出発から避難所到着までを記録	【リーダー補佐保健師】 ●避難所管理者に運営体制や避難者の状況を確認 ●保健師チームの役割について説明し、活動の場を確保 ●避難所での保健活動の方針及び役割分担を指示 【現場保健師】 ●リーダー補佐保健師と健康相談や環境アセスメント等の実施 ●相談内容等の集計を行い、リーダー補佐保健師に報告	【リーダー補佐保健師】 ●保健活動の状況報告 ●医療や介護が必要な方の処遇調整 ●生活用品・衛生用品の不足の確認 ●健康相談があった場合の対応依頼 ●健康管理や衛生管理について助言 【現場保健師】 ●連絡や啓発に必要な物を用意 ●処遇調整の必要な者のリストの作成	【リーダー保健師】 ●避難所の報告を反映させた災害時保健活動計画の作成 ●受援要請の有無の判断 【リーダー補佐保健師】 ●避難所の状況と合わせて保健活動について報告 ●健康課題について、リーダー保健師に相談 【現場保健師】 ●相談記録や日報のまとめ ●保健活動に必要な物品の補充
ヒントカード	◆リーダーを決定し、リーダーは取り組むことを示しましょう。 ●リーダーを宣言しましたか？ ●確認する情報は？	◆避難所での保健活動の準備をしましょう。 ●チーム編成は？ ●必要な情報は？ ●必要な物品は？	◆避難所へ向かう時にできる保健活動は？ ●被災状況の把握は？ ●避難所までの安全確認は？	◆まず、避難所管理者と打ち合わせを行いましょう。 ●保健師チームの紹介や役割の説明は？ ●避難所の状況は？	◆保健活動が落ち着いた時点で、避難所管理者に状況を報告しましょう。 ●健康相談の状況報告と処遇調整は？ ●生活・衛生用品の不足の確認は？ ●衛生管理についての助言は？	◆リーダー保健師に報告をしましょう。 ●健康相談の状況報告は？ ●避難所の健康課題は？
参照ページ	P28-29 5 保健師の役割別活動内容・応援保健師との役割分担 P38-40 活動項目1:住民の健康管理 P44 活動項目3:情報収集・分析・発信 P46-47 活動項目5:保健活動体制の構築・保健師等業務管理 P48-49 活動項目6:受援	P28-29 5 保健師の役割別活動内容・応援保健師との役割分担 P44 活動項目3:情報収集・分析・発信 P45 活動項目4:フェーズ各期の健康課題抽出・方針決定・実施・評価	P38-40 活動項目1:住民の健康管理 P41-43 活動項目2:感染症予防・避難所運営支援	P38-40 活動項目1:住民の健康管理 P41-43 活動項目2:感染症予防・避難所運営支援 P79-88 3 要配慮者への対応のポイント	P38-40 活動項目1:住民の健康管理 P41-43 活動項目2:感染症予防・避難所運営支援	P44 活動項目3:情報収集・分析・発信 P45 活動項目4:フェーズ各期の健康課題抽出・方針決定・実施・評価 P50 活動項目7:関係機関連携・活動調整

健康問題想定カード例

1	棚から物が落ちて右肩にあたり痛いんです。 右腕に切り傷もあり、ハンカチで押さえながら来ました。傷をみてください。
2	やっと避難所にこれました。一時避難所に発災直後に避難し、そこから1時間半もかかりました。 疲れたせいか頭痛がします。いつも飲んでいる薬がありません。薬をもらえませんか。
3	来月出産予定です。必死で避難所に来ました。お腹が張ってきているんですが、大丈夫でしょうか。
4	地震が大きくて怖かったです。今もまだドキドキしています。 元々血圧が高いんですけど、大丈夫でしょうか。
5	こんな地震は初めてです。5歳の子供と逃げてきました。避難所は安心でお世話になりたいのですが、 子供には障害があり、騒いだり、うろうろして周りに迷惑をかけないかと心配です。
6	隣に住む方に一緒に避難所に連れてきてもらいました。高齢でいつも膝が痛いんです。 目が悪いこともありトイレなどに行くのに不安があります。息子は仕事に出ていて、連絡がまだとれていません。
7	6か月の子供と逃げてきました。小さいミルクの缶は持ってきたのですが、お湯はもらえますか。 哺乳瓶の消毒はどうしたらよいでしょう。
8	小学生です。夜間や朝方に喘息が出ることがあります。 薬をもらっていますが、持ってこれませんでした。薬がないと心配です。
9	言いにくいのですが、トイレが遠いと心配です。夜は紙パンツがありませんか。
10	精神科に通っています。薬は持ってきていますが、避難所はわさわさして落ち着きません。 夜に眠れるかも心配です。
11	血圧と高脂血症の薬を飲んでいますが、あわてて避難してきたので、薬がありません。薬がほしいんですが。
12	糖尿病のためインスリンを持ち出しましたが、3日分しかありません。 主治医に連絡しようとしたのですが、電話が不通です。インスリンが必要です。
13	車イスで生活しています。座りっぱなしでお尻が痛みます。 家では、ベッドに横になることも多かったです。避難所の床に自分では横になれません。
14	療養手帳を持っています。いつもは通所していて、災害時には福祉避難所に行くように言われています。
15	実は人工肛門です。装具の替えは3回分ありますが、それ以降がありません。受診できる医療機関はありますか。
16	9か月の子供に母乳をあげています。母乳パットはないでしょうか。 それと授乳室のような場所があるといいんですが。
17	地震が怖かった。困っていることですか。ありますよ。 逃げてきたけど、ここはどこなの。私の荷物はどこ。誰と来たのかしら…。
18	ベトナム人です。日本語あまり話せません。 逃げるときに階段から落ちて、右のひじを打ちました。痛みがひどく手に力が入りません。
19	腎疾患をもっており、塩分制限があるのですが、避難所の食事の取り方はどうしたらよいですか。
20	一人暮らしで今日は自治会の方に避難所に連れてきてもらいました。脳卒中で要介護2です。 半身麻痺があり、ゆっくりつかまりながら歩けます。いつもはベッドで過ごすことが多く、 衣服や食事介助でヘルパーが来ています。ここでは移動も助けてもらわなくてはならず、気が引けます。
21	人混みが苦手で、避難所で大勢の人の中でのいるのが苦しいです。 これからどうなるのか考えると息が荒くなり、パニックになっています。
22	中学生です。避難所の中は冷えるせいかもしれませんが、寒気がします。見てください。

災害時保健活動の準備をしよう！

～市町村災害時保健活動支援ブック～

平成31年3月発行

平成30年度

登録第10号

編集・発行 東京都西多摩保健所
青梅市東青梅5-19-6
電話 0428(22)6141

印刷 株式会社共同印刷所
府中市寿町3-13-8
電話 042(368)2001



